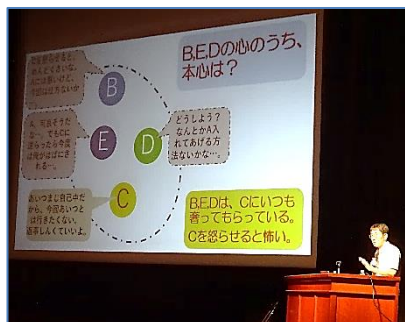


共につくる喜び

代田中学校
令和6年9月

学校保健委員会



事例について周りの人と意見交換



振り返りから(一部抜粋)

「ありがとう」や「ごめんなさい」は、すごく素敵な言葉だということを改めて知ることができました。音階で表して、仲間には上も下もないと聞いて、確かに、みんな同じ人間として生まれて生きているのに、上下や比較しているのはおかしいなと感じることができました。

差別の話聞いて、『差別はよくない』とは、分かっていたけど、自分への差別もあると聞いたときに、他人への差別もよくないけど、自分への差別もよくないんだと思いました。

私はすぐに人と比べて、苦しくなって気分が下がって、「私って…」となってしまいます。山口先生の話の聞いたら、「私って…」と考えるから気分が下がってしまうんだ」とわかりました。これからは、「私ってこうだけど、これは得意だね」って考えようと思えました。それと、人とすぐ比べてしまう私は、すぐしってしまう性格なのかな…？と不安に思っていたけど、人の脳はそう考えちゃうと聞いて、安心もできました。今日からもっと楽しく生きられると思いました。

「『本気』でやればなんでもできる」という言葉を聞いて、私は、「自分はこういう人、どうせ無理」と決めつけてしまうことが確かにあったなと思いました。でも、それは、自分で自分のリミットを勝手に作っているだけで、実際やってみなければわからないし、たとえ、最初はできなくても、やりたいと強く思えばどんな努力でもすることができんだなと思いました。

今、受験がだんだん近づいてきて、成績が心配とか大丈夫かなと思うこともあるけど、リミットをつくらず努力できるといいなと思いました。

自分は、よく他の人と自分を比べてしまい、自分にないところを見つけて落ち込んでしまっていました。「ありがとう」「ごめんなさい」を、自分を良く見せるためではなくて、心の底から思っていることを言うことをこれからも大切にしたいです。誰かがえらいとかはなくて、みんな必要な存在で、自分も大事だから、自分は別にいなくてもいいとか思わなくてもいいんだなと思いました。

3年生の私たちにとって、一番悩むのは受験で、自分に自信がなくなってしまうことも多かったけど、一人一人が必要で、良さがあるんだよとお話してくれたとき、少し気持ちが楽になった気がしました。

「ありがとう」「ごめんさい」など、普段から口にする心のきれいな人になれるといいなと思いました。どれだけつらくても、人と比較して、自分をもっと下に落とすのではなく、少しでも自分の良さに気づき、大丈夫だと思えるといいなと思いました。これからも、一生懸命がんばり、失敗を恐れずやりきる、強いカッコいい人になりたいです。

私は失敗を恐れてしまうことが多いので、「失敗は失敗ではない。失敗を恐れることが失敗だ。」という言葉がすごく刺さりました。

人と比べて優越感や劣等感を抱くことはよくないことだと分かったので、人と比べることはできる限りやめていきたいと思いました。みんな平等で、みんな大切だということが分かり、「〇〇は～だからえらい」とか、そういうことも差別になることも確かにそうだと思います。

生徒集会（代中フェスタ）

実行委員長の話



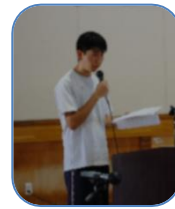
10月4日（金）・5日（土）に開催される代中フェスタに向けて、9月20日（金）に、生徒集会が開かれました。

それぞれのスタッフは夏休み前から、準備を進めてきました。オープニング、フィナーレ、スポーツカーニバル、パフォーマンス、美術のスタッフと生徒会役員がフェスタを動かします。

集会は、実行委員長の「フェスタはもう始まっています」という言葉から始まりました。そのあと、フェスタの変更点や日程、内容の説明がありました。また、ステージパフォーマンスの出演者について、それぞれの見どころも含めて紹介がありました。ライフセービングスタッフからは、熱中症クイズが出されました。最後に、フィナーレスタッフが、今年のテーマにもなっている「ライラック」の曲に合わせて、全校で踊るダンスを披露しました。

昨年度から「新しい代中のスタート」として、フェスタの新しい形を模索してきました。一人一人が「自分ができることは何か」、「この場で何をしたらいいのか」を考え続け、力を合わせて新しいフェスタをつくりあげていくことを期待しています。

各スタッフからの話



ステージパフォーマンス出演者の紹介がありました。



フィナーレのダンス